

平成 30 年 7 月 27 日

各 位

広島市安佐南区祇園 3 丁目 28 番 14 号
株式会社 アスカ ネット
代表取締役社長兼 C O O 松尾 雄司

第 23 回定時株主総会および懇談会の質疑応答要旨について

平成 30 年 7 月 27 日に開催いたしました第 23 回定時株主総会および懇談会の質疑応答要旨をお知らせいたします。株主総会およびその後の懇談会におきまして、以下のとおり、3 名の株主様から 4 件のご質問・ご提言をいただき、役員一同が回答いたしました。

（質問要旨）現在、本社の隣で新社屋の建設を進めているようですが、どのような用途を考えているのでしょうか。

（回答要旨）現在、新社屋の建設を進めておりますが、まずはパーソナルパブリッシングサービス事業における写真集製造部門のスペースが手狭になっておりますので、製造スペースを拡張したいと考えております。ただ、新社屋は割と大きな建物になりますので、一部は先ほど申し上げましたようにパーソナルパブリッシングサービス事業の製造スペースとして使用しますが、残りのスペースは今後の各事業の進展状況をみながら柔軟に活用用途を考えていきたいと思っております。

（質問要旨）樹脂製 ASKA3D プレーットのタイリングによる大型化の現状について教えてください。CEATEC でガラス製の大型プレートを見て、お化け屋敷などでの活用が面白いと思ったのですが、ガラス製は高価だと聞いているものですから。

（回答要旨）過去にガラス製の大型プレートのお化け屋敷での活用のお話はいただきましたが、価格的な折り合いがつかない経緯があります。ガラス製の大型プレートは実は 15cm 角のプレートを繋ぎ目が見えないような高度な技術によるタイリングを行っています。ただ、この技術は人手がかかるので、相応のコストがかかってしまうため、ガラス製の 1m 角プレートの販売価格は現状 300 万円程度となってしまいます。ただ、特に海外からは引き合いがあるのですが、必要量が作れないので対応できないのが現状です。

一方、樹脂の方は、ようやくサンプルが出来た段階であり、タイリングはまだ難しい状況です。樹脂製プレートの大きさは、現状 20cm 角が限界です。今は、20cm 角のサンプルを出荷して、その評価と組込製品化の可能性を検討していただいているところです。樹脂プレートの大型化はハードルが高いですが、ニーズが高いので今後もチャレンジしてまいります。

(質問要旨) エアリアルイメージング事業は、収益化するためには、技術と販売の両方が必要だと思いますが、特に海外では、どういうルートで販売しているのでしょうか。また、生産委託先の技術力は十分なのでしょうか。

(回答要旨) まず技術面ですが、当社が生産するのではなく、当社の技術者と生産委託先が協力して生産技術を研究しています。生産委託先は各分野において高度な技術力を有しておりますが、正直申し上げて三歩進んで二歩下がる状況で少しずつ進んでおります。なかなか一気に十歩進むのは難しいです。ただ、このプレートが世界的に注目されており、採用したい会社様が非常に多くあります。特に海外から注目されています。分野も自動車、デジタルサイネージ、医療など多岐に渡ります。販売先のお客様とも一緒になってお客様の希望を聞き、どのように製品化するか考えています。これまで長い時間要しておりますが、お客様には是非ものにしたいと待っていただいております。お客様の希望するクオリティーと価格をなんとしても実現したいと思い、続けてまいります。海外の販売ルートは基本的に直販です。完成品の販売ではないので、直接折衝することでお客様の細かいニーズを汲み取ることが重要だと考えております。継続的なビジネスを行う上では、当社は直接折衝していくことが必要だと考えています。国内外合わせて6名の営業体制ですが、BtoB 分野であることもあり、現状十分な体制であると考えております。

(質問要旨) エアリアルイメージング事業の今期の売上計画が少ないような気がするのですが、その辺はどのようにお考えでしょうか。

(回答要旨) 樹脂につきましては、サンプルの売上しか計画には入れておりません。といいますのも、サンプルの購入・評価から組込製品の設計・生産には、相応の時間がかかると考えているためです。

以 上